

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-006164

(43)Date of publication of application : 10.01.2003

(51)Int.Cl. G06F 15/00
G06F 17/60

(21)Application number : 2001-188022 (71)Applicant : AOKI NORIYASU

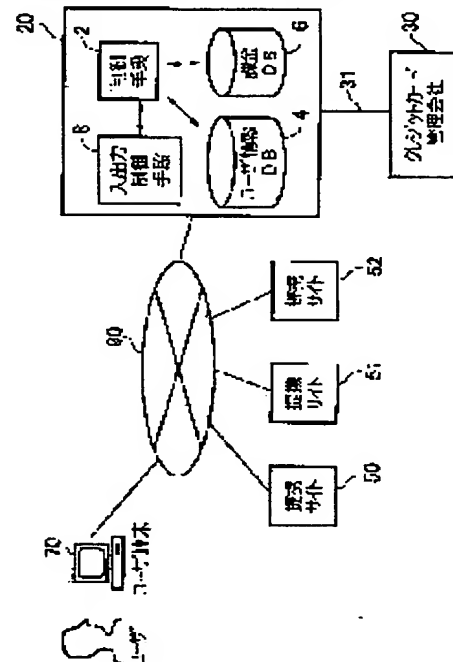
(22)Date of filing : 21.06.2001 (72)Inventor : AOKI NORIYASU

(54) SYSTEM AND METHOD FOR AUTHENTICATION AND COMPUTER PROGRAM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an authentication system and an authenticating method, capable of representatively authenticating a user accessing an affiliated site, and to provide a computer program.

SOLUTION: This authentication system 20 is provided with a user information database 4 connected to affiliated sites 50 to 52 on a Web via a network 90 and storing authentication information of users which has been allowed to access the affiliated sites and a control means 2 for acquiring authentication information inputted to the affiliated sites, performing authentication processing on the basis of the user information database and transmitting authentication the results to the affiliated sites.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開 2003-6164

(P 2003-6164A)

(43) 公開日 平成15年1月10日 (2003. 1. 10)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコ-ト* (参考)
G 0 6 F	15/00	3 3 0	B 5B085
	17/60	1 4 0	
		4 1 4	
		5 0 4	
		Z E C	
審査請求	未請求	請求項の数 6	OL
			(全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-188022 (P2001-188022)

(22) 出願日 平成13年6月21日 (2001. 6. 21)

(71) 出願人 501249582

青木 規安

千葉県松戸市新松戸4-11 メゾン・ド・
ココット303

(72) 発明者 青木 規安

千葉県松戸市新松戸4-11 メゾン・ド・
ココット303

(74) 代理人 100064908

弁理士 志賀 正武 (外6名)

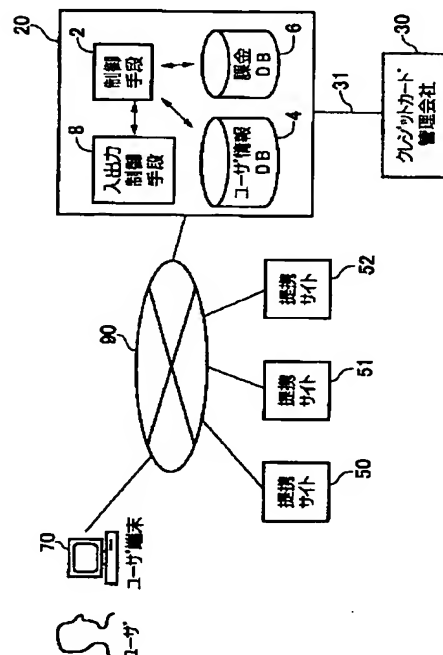
F タ-ム (参考) 5B085 AE02 AE03 BA07 BC01 BG03
BG07

(54) 【発明の名称】 認証システム及び認証方法、並びにコンピュータプログラム

(57) 【要約】

【課題】 提携サイトにアクセスするユーザの認証を代行可能な認証システム及び認証方法、並びにコンピュータプログラムを提供する。

【解決手段】 Web上の提携サイト50～52とネットワーク90を介して接続され、提携サイトへのアクセスが許容されたユーザの認証情報を格納するユーザ情報データベース4と、提携サイトへ入力された認証情報を取得し、ユーザ情報データベースに基づいて認証処理を行い、認証結果を提携サイトへ送信する制御手段2とを備えた認証システム20である。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 Web 上の提携サイトとネットワークを介して接続され、前記提携サイトへのアクセスが許容されたユーザの認証情報を格納するユーザ情報データベースと、前記提携サイトへ入力された認証情報を取得し、前記ユーザ情報データベースに基づいて認証処理を行い、認証結果を前記提携サイトへ送信する制御手段とを備えたことを特徴とする認証システム。

【請求項 2】 前記制御手段は、前記認証結果に関連付けて前記ユーザの呼称情報を送信することを特徴とする請求項 1 に記載の認証システム。

【請求項 3】 前記制御手段は、前記提携サイトへのアクセスを希望するユーザの申請したクレジットカード番号が、該クレジットカードの管理会社により認証された場合に、前記ユーザの認証情報を発行することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の認証システム。

【請求項 4】 前記制御手段は、前記提携サイトからの認証依頼の頻度に応じて、課金情報を記録することを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の認証システム。

【請求項 5】 Web 上の提携サイトへのアクセスが許容されたユーザの認証情報を格納する過程と、前記提携サイトへ入力された認証情報を取得する過程と、前記格納された認証情報に基づいて認証処理を行い、認証結果を前記提携サイトへ送信する過程とを有することを特徴とする認証方法。

【請求項 6】 Web 上の提携サイトへのアクセスが許容されたユーザの認証情報を格納する過程と、前記提携サイトへ入力された認証情報を取得する過程と、前記格納された認証情報に基づいて認証処理を行い、認証結果を前記提携サイトへ送信する過程とをコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、Web 上でユーザの認証を行う認証システム及び認証方法、並びにコンピュータプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、インターネットの普及に伴い、いわゆるネットオークション等が盛んになっている。ところで、このネットオークションにおいては売り手と買い手の間で金銭の授受があることから、オークション参加者から所定の参加料を徴収することで、不正な者による料金未払いや商品未発送等を抑止している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、かかる

参加料を徴収したとしても、やはり料金未払いや商品未発送を完全に防止することは困難である。また、いちいち参加料を徴収しては、善意の者の参加を促進することができないという問題がある。従って、安全で信頼できるユーザかどうかを認証して、このユーザのみをオークションに参加させることができれば好ましい。

【0004】 一方で、Web 上の仮想店舗では、商品購入時にユーザにクレジットカード番号等の入力を要求し、認証を自己のサイト内で行っている。しかし、かかる認証を個々の Web サイトすべてに課すことは、システムコストの点から困難な場合が多い。特に、運営費用の少ないサイトにとっては負担が大きく、このようなことから安価かつ容易に本人認証を行う技術が望まれている。

【0005】 本発明は、上記した問題点に鑑みてなされたもので、提携サイトにアクセスするユーザの認証を代行可能な認証システム及び認証方法、並びにコンピュータプログラムを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記した目的を達成するために、請求項 1 記載の認証システムは、Web 上の提携サイトとネットワークを介して接続され、前記提携サイトへのアクセスが許容されたユーザの認証情報を格納するユーザ情報データベースと、前記提携サイトへ入力された認証情報を取得し、前記ユーザ情報データベースに基づいて認証処理を行い、認証結果を前記提携サイトへ送信する制御手段とを備えたことを特徴とする。

【0007】 前記制御手段は、前記認証結果に関連付けて前記ユーザの呼称情報を送信することが好ましい。

【0008】 前記制御手段は、前記提携サイトへのアクセスを希望するユーザの申請したクレジットカード番号が、該クレジットカードの管理会社により認証された場合に、前記ユーザの認証情報を発行することが好ましい。

【0009】 前記制御手段は、前記提携サイトからの認証依頼の頻度に応じて、課金情報を記録することが好ましい。

【0010】 本発明の認証方法は、前記提携サイトへのアクセスが許容されたユーザの認証情報を格納する過程と、前記提携サイトへ入力された認証情報を取得する過程と、前記格納された認証情報に基づいて認証処理を行い、認証結果を前記提携サイトへ送信する過程とを有することを特徴とする。

【0011】 本発明のコンピュータプログラムは、前記提携サイトへのアクセスが許容されたユーザの認証情報を格納する過程と、前記提携サイトへ入力された認証情報を取得する過程と、前記格納された認証情報に基づいて認証処理を行い、認証結果を前記提携サイトへ送信する過程とをコンピュータに実行させることを特徴とする。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、各図を参照して説明する。図1は、本発明にかかる認証システム（以下、適宜「認証サイト」という）20の一実施の形態を示す構成ブロック図であり、システム全体を制御する制御手段2、詳しくは後述するユーザ情報データベース（以下、適宜「DB」という）4、課金情報データベース6、ネットワーク90との情報の送受信を行う入出力制御手段8を備えている。制御手段2は所定の中央演算処理装置（CPU）等からなり、又、認証システム20は全体としてWebサイトを構成している。

【0013】認証サイト20はネットワーク90に接続され、当該ネットワーク90を介してユーザ端末70、及び提携サイト50～52と接続されている。また、クレジットカード管理会社30と専用回線31を介して接続されている。提携サイト50～52はWebサイトであり、アクセスを許容した所定のユーザに対し、コンテンツを閲覧させるようになっている。なお、提携サイトは、アクセス制限をせずに一般ユーザに閲覧させるコンテンツをさらに備えていてもよい。

【0014】ここで、ユーザ端末70は、パーソナルコンピュータ、携帯電話機やPHS（Personal Handyphone System：登録商標）、あるいはPDA（Personal Digital Assistants：個人用情報機器）等であり、いずれもネットワーク90に接続可能で、Webページを閲覧可能なブラウザが搭載されている。また、クレジットカード管理会社30は、ユーザのクレジットカードの発行・管理を行うサーバであり、ユーザのクレジットカード情報に基づいて認証処理を行う。

【0015】ネットワーク90としては、インターネットの代わりに、専用回線、LAN（Local Area Network）、WAN（Wide Area Network）等を用いてもよい。また、携帯端末からのアクセス時は、移動体通信網を介してネットワーク90へと接続される。

【0016】認証サイト20において、ユーザ情報データベース4は、各提携サイト50～52で用いる認証情報（ID、パスワード）を含むユーザ情報を記憶する。図2は、ユーザ情報のデータ構成を示す図である。この図において、ユーザ情報は、それぞれユーザ名、クレジットカード番号、上記認証情報（ID、パスワード）、ニックネーム（呼称情報）の各フィールドからなる。ここで、ユーザ名はこのユーザの氏名であり、ニックネームはこのユーザを各提携サイト上で表示させるためのものである。

【0017】次に、図3を参照して、ユーザが認証サイトから認証情報の発行を受ける処理フローを説明する。この図において、まずユーザは、ユーザ端末70からURL（Uniform Resource Locator）を指定して認証サイト20にアクセスする。そして、自己のクレジットカード

ド番号を入力して認証情報の発行を要求する（ステップS100）。この際、ユーザの属性情報（氏名、住所、電話番号等）も入力してもよい。認証サイト20の制御手段2は、受信したクレジットカード番号（ユーザ属性情報を含んでもよい）をクレジットカード管理会社30へ送信する（ステップS200）。

【0018】クレジットカード管理会社30は、受信したクレジットカード番号が、管理されているクレジットカード番号に一致するかの認証処理を行い（ステップS300）、認証結果を送信する（ステップS302）。認証処理において、クレジットカード番号の他、ユーザ属性情報を管理データと照合するようにしてもよい。

【0019】制御手段2は、認証成立の結果を受信した場合に、このユーザに対して上記ID及びパスワードを発行し、ユーザ端末70に送信する（ステップS202、S204）。なお、認証不成立の結果を受信した場合は、ID及びパスワードを発行せず、不成立の旨をユーザ端末に送信する。

【0020】また、制御手段2は、ニックネームの入力を要求する（ステップS206）。この入力要求は、所定の入力ページをユーザ端末に送信することで行う。これに対し、ユーザは、ユーザ端末から所望のニックネームを入力して送信する（ステップS102）。制御手段2は、受信したニックネームを上記ID及びパスワードに関連付けてユーザ情報DB4に格納する（ステップS208）。なお、以上の処理においては、クレジットカード番号のネットワークからの漏洩を防止するため、適宜所定のセキュリティ技術を用いて送受信するようにするとよい。

【0021】次に、図4を参照して、ユーザが提携サイトへアクセスする処理フローを説明する。この図において、まずユーザは、ユーザ端末70から所定のURLを指定して提携サイト50にアクセスし、上記ID及びパスワードを入力する（ステップS110）。提携サイト50は、受信したID及びパスワードを認証サイト20へ送信して認証を依頼する（ステップS210）。認証サイト20の制御手段2は、受信したID及びパスワードをユーザ情報DB4に記録されたデータと照合して認証処理をする（ステップS310）。また、認証が成立した場合、制御手段2は、このID及びパスワードに対応するユーザのニックネームをユーザ情報DB4から読み出し、認証結果とニックネームを提携サイト50へ送信する（ステップS312）。なお、認証不成立の場合、ニックネームの読み出しはせず、不成立の旨を提携サイトに送信する。

【0022】提携サイト50は、認証成立の旨を受信すると、アクセス制限していた機能を、このユーザ端末に対して許容する処理を行う。ここで、アクセス制限機能の許容とは、例えば所定のWebページをユーザ端末に送信することの禁止や、ユーザ端末からの入力を受け付

10

20

30

40

50

けることの禁止を解除することである。また、提携サイト 50 は、受信したニックネームを適宜記録し（ステップ S 212）、認証結果とニックネームをユーザ端末に送信する（ステップ S 214）。ユーザは、アクセス制限のある Web ページの閲覧要求をユーザ端末から送信し（ステップ S 112）、提携サイト 50 はユーザ端末にこの Web ページを送信する（ステップ S 216）。ユーザはユーザ端末を介して Web ページを閲覧し（ステップ S 114）、必要に応じてニックネームを入力する（ステップ S 116）。ニックネーム入力、例えば BBS（電子掲示板システム）に投稿する場合のユーザ表示の際に行う。なお、認証成立の旨の代わりに、ニックネームを受信したに基づき、提携サイト 50 がアクセス制限していた機能を許容するようにしてもよい。

【0023】提携サイト 50 は、受信したニックネームとステップ S 212 で記録されたニックネームとの照合を行い（ステップ S 218）、照合成立の場合、ニックネームの表示処理を行う（ステップ S 220）。このようにすると、各ユーザに割当てられたニックネーム以外の呼称が提携サイト 50 上で使用（表示）されることがなく、各ユーザは自己のニックネームをユニークにサイト上で使用できることになる。つまり、正規のユーザ以外が同一ニックネームを使用することが防止される。なお、上記ステップ S 212、218 の処理は必須ではなく、入力されたニックネームを直ちに表示処理しても勿論よい。

【0024】一方、（認証サイト 20 の）制御手段 2 は、提携サイト 50 からステップ S 210 で認証依頼がされる毎に、課金情報を課金 DB 6 に記録する（ステップ S 314）。この課金情報に基づき、提携サイトに対して認証費用の請求がされることになる。

【0025】なお、別の提携サイト 50 あるいは 52 にアクセスする場合、ユーザ端末は、ステップ S 110 以降の処理を再度行う。つまり、提携サイトへアクセスする毎に認証処理を行うことになる。

【0026】図 5 は、上記図 4 のフローに従って、ユーザ端末に表示される画面の遷移例を示す。ユーザは Login 画面 1000 にて、テキストボックス 1000a、1000b にそれぞれ ID、パスワードを入力する（図 5（1）、ステップ S 110 に相当）。認証が成立すると、その旨の画面 1100 が表示され、また、このユーザが使用可能なニックネーム「あおり」が表示欄 1100a に表示される（図 5（2））。認証成立により、ユーザはアクセス許容された Web ページ画面 1200 を閲覧する（図 5（3））。また、BBS 画面 1300 では、投稿ユーザのニックネーム、及び投稿内容が表示欄 1300a、1300b にそれぞれ表示される（図 5（4））。ここで、上記したステップ S 218 の処理がされていれば、表示欄 1300a に同一ニックネームが重複表示されることがなく、各ユーザは自分に割

当てられたニックネームをユニークに使用できる。

【0027】本発明は上記した実施形態に限られない。例えば、ニックネームの登録をせず、提携サイトでは認証情報によるユーザの認証のみを行うようにしてもよい。また、クレジットカードの有効期間等に応じてクレジットカード管理会社が管理するデータは適宜変更される。従って、ユーザ情報 DB に格納されたクレジットカード番号を、上記管理データに従って更新するようにしてもよい。この更新は、クレジットカード管理会社からの指示によって行ってもよく、また、所定の時期に認証サイトからクレジットカード管理会社に問い合わせをしてもよい。また、ユーザに対するクレジットカード発行が禁止された場合は、ユーザ情報 DB に格納されたユーザ情報を削除することで、提携サイトへのアクセスを拒否できる。

【0028】さらには、提携サイトごとに別の認証情報を発行し、格納するようにしてもよい。そして、提携サイトからの認証依頼が成立する毎に、認証システムで新規にユーザの呼称情報を生成して送信してもよい。この場合、提携サイトで認証がされる度に、ユーザは新たなニックネームを使用することになる。

【0029】なお、本発明の認証システムは、コンピュータと、通信装置等の各種周辺機器と、そのコンピュータによって実行されるソフトウェアプログラムとによって実現することができ、上記システム内で実行されるソフトウェアプログラムは、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体あるいは通信回線を介して配布することが可能である。

【0030】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ユーザの提携サイトへのアクセス許可の判断を、当該提携サイトの代わりに認証システムで行うので、提携サイトは認証処理の負担が軽減される。

【0031】また、請求項 2 記載の本発明によれば、認証がされたユーザの呼称情報を提携サイトへ送信するので、ユーザは提携サイト上でこの呼称情報を閲覧し、適宜当該提携サイト上で使用（表示）することができる。特に、ユーザの氏名等の個人情報の送信は安全上や法律上問題となることがあるが、呼称情報であればかかる問題がないという利点がある。請求項 3 記載の本発明によれば、認証システムでは予めユーザのクレジットカード番号に基づいた認証情報を発行しているので、クレジットカードの発行を受けている優良・安全なユーザのみが提携サイトへアクセス許容される。従って、提携サイトにおいては、不特定多数のユーザによる不正行為等の発生を有効に防止できる。請求項 4 記載の本発明によれば、提携サイトからの認証依頼に対して課金するので、提携サイトへ認証費用を適宜請求できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の認証システムの構成を示すブロック

図である。

【図 2】 ユーザ情報のデータ構成を示す図である。

【図 3】 ユーザが認証サイトから認証情報の発行を受ける処理フローを示す図である。

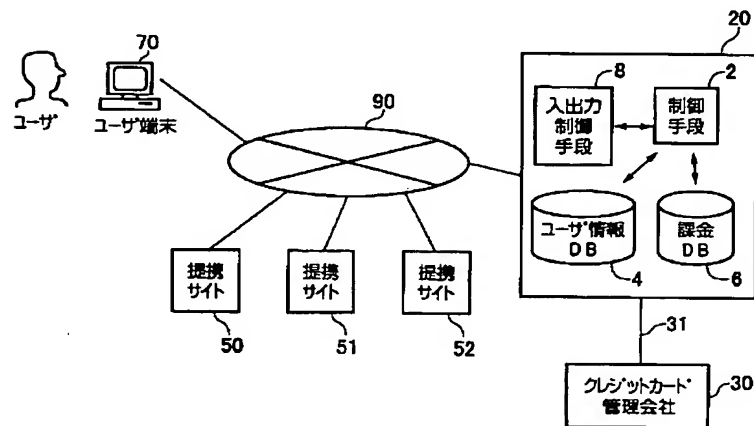
【図 4】 ユーザが提携サイトへアクセスする処理フローを示す図である。

【図 5】 ユーザ端末の表示される画面の遷移例を示す図である。

【符号の説明】

2	制御手段
4	ユーザ情報データベース (DB)
20	認証システム
50～52	提携サイト
70	ユーザ端末
90	ネットワーク

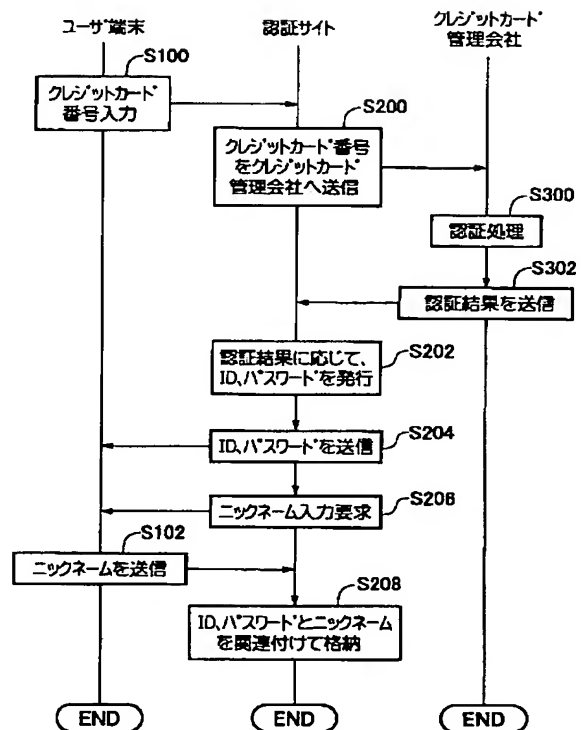
【図 1】



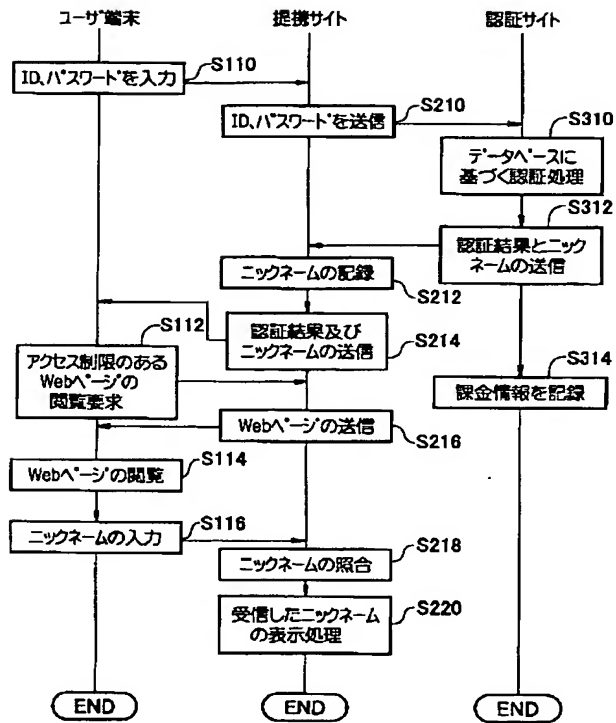
【図 2】

ユーザ名	クレジット会社番号	ID	パスワード	ニックネーム
青木××	〇〇×	△△△△	あおのり

【図 3】



【図4】



【図5】

